

子ども真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和6年12月26日
長崎市立畝刈小学校
学校だよりNO. 107
校長 田中 成年

＜子ども真ん中教育＞

～第2学期終業式 その2～

昨日は、終業式での子供たちの素晴らしい発表についてお伝えをしました。あと3つ素晴らしいところをお伝えいたします。

1つ目は、代表の子供たちの言葉の後に、「全員全力で校歌を歌いましょう。」と伝え、全員で校歌を歌いました。



左の写真に一列にきれいに並んだ先生たちの姿があると思います。先生たちも子供たちもみんな一緒に大きな声で校歌を歌いました。体育館に大きく響く歌声は、それはそれはとても心地よいものでした。「さすが畝刈小学校！」とうれしく思いました。



2つ目は、生活の話です。6年生の有志の子供たちが冬休みの生活の決まりや普段から禁止されている「SNS」のことについて「O×クイズ」をして伝えていました。

自分たちの決まりを自分たちの声や行動で伝える6年生の姿は素晴らしかったです。



最後 3 つ目は、上の 2 枚の写真です。終業式が終わると 6 年生が壇上の机や階段等、使用したものを片付けています。自ら動く 6 年生の行動に感動いたしました。また、閉めていた 2 階のギャラリーのカーテンを開けに 5 年生が行っていました。高学年の輝く行動が光ります。

このように、この 9 か月の間に大きく成長を遂げている畝刈小学校の子供たちです。とても誇らしく、今後の成長がとても楽しみにになります。

前回もお伝えしましたが、これも本人の努力のみならず、保護者・地域・先生方の支えがあるからこそだと思います。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。